

## 2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム ふれあいの家  
作成日 平成28年 3月29日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		入床時、4点柵を使っている方、精神薬を内服している方がいる。 身体拘束をしないケアについて全職員でより深く話し合う必要がある。	4点柵や薬をできるだけ使わないケアを追求する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動分析をし、バリデーションの学習会をする。</li> <li>・やむを得ない場合の記録を正確に残す。</li> <li>・家族に文書で同意を得ることで職員の自覚を高める。</li> </ul>	3ヶ月
2		運営に関して利用者、家族の意見が反映しにくい状況がある。	家族の意見が反映しやすいような場を設定する。	運営主体であるNPOみなまたに家族総会の開催を管理者会議を通して検討してもらう。	3ヶ月
3		災害対策について利用者の確実な避難誘導が求められる。	様々な災害の発生に対応できるよう訓練の質を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を密にし、訓練に参加してもらう。</li> <li>・夜間や地震時の避難誘導等、様々なパターンを想定した訓練をする。</li> </ul>	3ヶ月
4		外出支援がまだ十分でない人がいる。	どの方も外出で気分転換を図ってもらう。	外出を渋る人には行事等で外出の楽しみを味わってもらう。	3ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。